

# 鳴門市鳴門中学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習指導の在り方
- ①基礎的・基本的な知識・技能を伸ばし、個に応じた指導を充実させる。
  - ②自分の課題を見つけ、対話的な活動を通じて解決していく態度を育成する。

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員  
 校長:中山 祐次 教頭:櫻井 篤史  
 森本 千晶 教務主任:森 義雄 研修主任:森 義雄  
 1年組:濱田加容子 2年組:福井英子 3年組:志磨智恵子

校長

中山 祐次 印

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○指示された課題に対して真面目に取り組むことができる。 ○3分前復習で、ワークなどを用いて知識の習得に努めている。 ●学習内容の定着が難しい生徒がいる。	・授業に集中し、自分の力で問題を解こうとする。 ・基礎基本を確認する小テストで満点がとれるように努力する。 ・ワーク類の課題を復習に活用し、くり返し解いて、学習内容を定着させる。	・生徒が集中して取り組めるように、短時間ごとに区切って活動させるなどの授業展開を考える。 ・基礎基本を確認する小テストを行い、8割に満たない生徒には個別指導をする。 ・3分前復習の徹底を図る。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発言しようと前向きに取り組もうとする生徒が多い。 ○ペア学習や班活動などの話し合いでは、積極的に取り組める。 ●考えを深めたり、まとめたりすることが難しい生徒もいる。 ●発言する生徒に限られている場合がある。	・授業の中で、自分の考えを表現することができる。 ・自分の考えを深めたり、他者に説明したりする活動に積極的に参加する。	・生徒が各自で課題を把握する時間を確保する。 ・記述させることで自分の考えを深めたり、他者と比較したりさせる。 ・自分の考えを表現して他者と共有したり、他者に筋道立てて説明したりする場面を設定する。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○声をかけあって集中して学習できる雰囲気を作ろうとしている。 ○生徒会が企画した「授業3分前復習」に全校生徒で取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけて取り組むことが難しい生徒もいる。 ●自主学習ノートが上手に活用できていない	・3分前復習に意欲的に取り組むことができる。 ・周囲と協力して、問題を解決することができる。 ・自主学習ノートを活用して、基礎・基本の定着をはかる。 ・目標や目的意識をもち、達成に向けて努力できる。	・短時間で取り組める学習方法や、効果的な復習方法を指導する。 ・自主学習ノートの使い方を指導し、効果的に活用させる。 ・目標の内容や達成度を具体的に示す。			

## 令和4年度 学力向上ロードマップ

